

わかきっ子

【学校目標】ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成
～みんなでつくる・みんなで伸びる～

卒業生 巣立つ！

～令和8年3月13日 8名の卒業生 おめでとう！～

校庭の桜のつぼみも、やわらかな春の日差しを受け、今か今かと花開く時を待っています。厳しい冬を耐え、静かに力を蓄えてきた桜の姿は、本日卒業を迎える六年生の皆さんの姿と重なります。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業証書に記されている「小学校の課程を修了したことを証する」の一文には、皆さんが六年間積み重ねてきた努力が込められています。また、ご家族の温かな支えや、先生方、地域の方々の思いも詰まっています。どうかその誇りを胸に刻んでください。

最上級生となったこの一年、皆さんは若木小学校を力強く支えてくれました。運動会では、団長や応援リーダーを中心に、競技だけでなく係の仕事にも責任をもって取り組みました。下級生に優しく声をかけ、励ます姿は頼もしく、本校の柱としての役割を立派に果たしてくれました。また、伝統の若木太鼓の演奏も忘れることはできません。力強いばちさばきと心を一つにした響きは、多くの人の心を打ちました。思うようにいかず悩んだこともあったでしょう。しかし、仲間と励まし合いながら重ねた努力が、本番の堂々たる演奏へとつながりました。その姿は、伝統を受け継ぐ誇りに満ちていました。さらに、創立百五十周年記念事業では、皆さんが中心となり学校を盛り上げ、地域の方々への感謝の思いを行動で示してくれました。若木小学校の長い歴史の中で、皆さんは確かな一ページを刻んだのです。そして、皆さんはいつも下級生から慕われる六年生でした。縦割り活動や委員会活動、登校班や清掃活動の中で、困っている一年生に手を差し伸べたり、友達を支えたりする姿を何度も見ました。その優しさこそが若木小学校の誇りであり、皆さんの大きな輝きです。

これから進学する中学校では、新しい出会いと挑戦が待っています。そんな皆さんに一つの言葉を贈ります。

「勝負の神様は細部に宿る。」

これは元サッカー日本代表監督の 岡田武史 氏の言葉です。日頃から準備を尽くし、細かなことを大切にすること、いざというときに力を発揮できるという教えです。

課題に真剣に取り組むこと、部活動に励むことはもちろん、あいさつをすること、時間を守ること、仲間を大切にすることなど、日々の当たり前の積み重ねが大きな力になります。どうかこれからも「当たり前」を大切にしながら歩んでください。

保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。六年前、小さな手を引いて校門をくぐられた日のことを思い出しておられることと存じます。お子様は本校で多くの友や先生、地域の皆様に支え、育てられながら、大きく成長されました。これまでの温かいご支援に、心より敬意と感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん。若木小学校はいつまでも皆さんの母校です。どうか自分を信じ、仲間を信じ、「当たり前」を大切にしながら力強く歩んでください。皆さんの未来が満開の桜のように美しく花開くことを心より願っています。